2026 年 6 月　ver.1.0

研究課題名	呼吸器外科手術における術中血圧変動が術後せん妄に及ぼす影響の検討
研究の意義・目的	手術の後に起こることがある「せん妄」は、意識が混乱したり、落ち着きがなくなったりする症状で、肝臓手術を含む大きな手術を受けた後によく見られる合併症のひとつです。せん妄が起きると、入院期間が延びたり、その後の日常生活への復帰が遅れたり、医療費が増えたり、さらには長期的に健康に悪影響を及ぼすこともあります。 せん妄がなぜ起きるのかは、まだはっきり分かっていません。ただ最近の研究では、入院中に血圧が大きく変動すると、せん妄を起こしやすくなることが分かってきました。 肺の手術を行う際には、心臓周囲の操作の際に心臓そのものが押されることで、手術中の血圧が大きく変動することがしばしば生じます。 今回の研究では、「手術中の血圧の変動」と「術後のせん妄」との関係を調べることで、せん妄を予防するための新しい方法を見つけることを目指しています。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～　2029 年 12 月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2023年5月～2026年5月に大阪公立大学医学部附属病院の呼吸器外科の手術を受けられた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 年齢、性別、診断名、既往歴、身長、体重、手術前の血圧値、手術中の血圧値、術前 Hb 値、術前 Alb 値、術前 AST 値、術式、手術時間、出血量、輸液量、術後せん妄記録
試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科麻酔科学のみで行います。 【研究責任者】重里　尚

個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院　麻酔科 担当者氏名：重里　尚 電話番号：（０６）６６４５-２１８６